



STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ推進ニュース — 介護ウェーブの “Big Wave” をおこそう! —

いよいよ明日は 11月11日「介護の日」 「全国一斉行動」を具体化しよう!

介護ウェーブの取り組みで記者会見（和歌山）

「介護ウェーブ」は、報道機関にも関心をもってもらえる手ごたえ!

介護保険制度改善への社会的アピールを強めるため、11月11日「介護の日」街頭宣伝行動、12月6日「介護ウェーブのつどい」の取り組みを知らせ、取材していただくこと、県政記者室に申入れたところ、11月6日（木）午後2時から記者会見が実現し、和歌山民医連介護ウェーブ実行委員会から2名が参加しました。

県政記者室の構成は13社ですが、そのうち8～9名の記者が参加。資料として、7月に集約した現場からの事例報告と、改善要求（事業所名をはずして冊子にしました）、『「介護の社会化」再構築へ民医連の提案』（全日本民医連文書）、署名用紙等を配布しました。

記者からの質問と主なやりとりは下記のとおりです。

【記者】 事例報告についていつとりんだものか **（回答・7月）**

【記者】 どれ位の事業所から出されたものか **（回答・10余り）**

【記者】 民医連関係以外の事業所からも事例を集めているのか **（回答・民医連加盟事業所内にとどまっている。他の事業所にも事例報告やアンケートのとりくみをしようとの意見は内部でも出されているので、12/6つどいに向けとりくみたい）**

【記者】 事例報告はどの範囲に配布されているか。希望すれば誰でも入手できるのか。 **（回答・事例報告は法人内での紹介にとどまっている。12/6つどいでは資料として配布を考えたい。）**

【記者】 2つの署名（全日本民医連の署名と中央社保協の署名）に違いはあるか **（回答・新たにとりくんでいる署名は中央社保協と団体が広がったもので、内容的には同じだが、介護労働者の処遇改善が前面に出ている）**

【記者】 介護労働者の人材難、処遇について和歌山の実情はどうか **（回答・人材難、経営難で事業所閉鎖したところもある。06改定で経営がきびしく、和歌山市内でも事業所から遠方となる地域は敬遠されサービスを受けたくとも受けられない地域がある。紀北筋では必要な事業所が不足している）**

【記者】 給与水準について、全国的に全産業等と比較した統計資料があるが、和歌山の統計資料はあるか **（回答・わからないが、見聞きする範囲では介護職員の処遇改善は課題）**

【記者】 12月6日のつどいについて、誰でも参加できるのか。参加は無料でよいのか。会場に入れないといったことがおこらないか **（回答・誰でも参加可。無料。定員は120名のホール、どの程度参加してもらえるかわからないが）**

記者室幹事社の共同通信以外に、記者会見終了後、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、和歌山放送の記者と名刺交換し、和歌山民医連と医療生協の団体や事業所について質問されました。また、事前にNHK、事後に読売の記者から問い合わせを受けました。介護ウェーブは、報道機関にも関心をもってもらえる手ごたえを感じています。（和歌山民医連 介護ウェーブ第12号 2008.11.07より）

利用者も事業所も職員も大変！！

西多摩社保協「介護事業所実態アンケート」を実施（東京）

西多摩社保協では、9月に西多摩地域（羽村、青梅、あきる野、福生、瑞穂、日の出）の86事業所にアンケート調査をお願いし、30事業所から回答を得ました。中間報告の抜粋を紹介します。

【利用者への影響】

○介護度変更（要介護から要支援に）による影響（事業所数・複数回答）

→訪問介護18、福祉用具17、ベッド15、車イス14、通所8、利用を中止または減らした10

○現在の介護保険サービスで悪くなったこと

→回数や時間が不足18、経済的負担が増えた16、生活の負担が増えた9、家族に負担をかける8

【事業所・職員への影響】

○収入減について（06年度と07年度の比較）

→▲1割未満6、▲1割台2、▲2割台8、▲3割以上5

○職員の労働条件＝人員削減・パート化11、手当削減8、賃金切り下げ6、とくになし7、研修の削減5

（東京民医連介護ウェブニュース No.17 2008.11.05 より）

STO:PI! 事務局短信「本日、記者会見を行います！」（全日本民医連）

全日本民医連では、11月11日「介護の日」の前日にあたる11月10日、全国一斉行動の取り組みの一環として、記者会見を行います。全国から寄せられた「介護1000事例」の最終まとめ等を報告します。新聞社、テレビ局、業界紙等のマスコミ数十社に案内を送付しており、多くの参加が期待されます。全国でも和歌山民医連のように、マスコミに「介護ウェブ」を知らせる取り組みを具体化しましょう。

STO:PI! 介護ウェブ「のぼり旗」増刷します！

完売した、介護ウェブ「のぼり旗」を増刷することになりました。「限定200セット」の販売となりますので、お早めの申込みをお願い致します。無くなり次第、終了とさせていただきます。

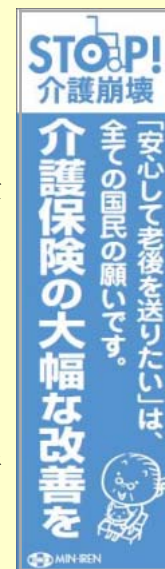
健友会（東京）では、事業所の外に、毎日、「のぼり旗」を立て、利用者・区民に介護ウェブをアピールしています。創意工夫あるユニークな「のぼり旗」の活用情報（記事・写真）をお寄せください。

STO:PI! 新署名の集約について

毎週月曜日は、署名の集約日です。全日本民医連に報告の際は、「新署名」の集約か、「旧署名」の集約かをわかるようにしてお送りください。

■ 新署名（2008年11月8日現在） **8,814筆**

■ 旧署名（2008年11月8日現在） **308,285筆**



お問い合わせは、「介護ウェブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp